

2023.
Apli

リハ
めいる

誤嚥性肺炎の予防

についてしらべてみました

〈誤嚥とは〉 口から食道へ入るべきものが気管に入ってしまうこと

〈誤嚥性肺炎〉 唾液や食べもの胃液などと一緒に細菌が気道に誤って入ることにより発症する

〈治療〉 抗菌薬を用いた薬物療法が基本。嚥下機能に悪影響を及ぼす薬物内服をチェックする。(その上で嚥下反射を改善する効果が確認されている ACE 阻害薬などの適応を検討することもある)

〈予防策〉
◆ **口腔ケア** 誤嚥しても肺炎になりにくいよう細菌を減らす
● **胃瘻** 経皮内視鏡的胃瘻造設術

♀ **摂食姿勢・食形態** 誤嚥しにくい体操や姿勢。食形態の工夫など

♀ **異物、痰を喀出する力(咳反射)を薬によって増やす**

誤嚥防止手術

耳鼻咽喉科医師による外科的治療が主流なようです

呼吸の通り道と食事の通り道を分ける方法。

喉から気道につながる道を塞ぎ代わりに気道の出入り口を喉の前面に作る手術です。

難治性の繰り返す誤嚥性肺炎の方が適応。1975 年に Lindeman によって発表された術式。

特徴

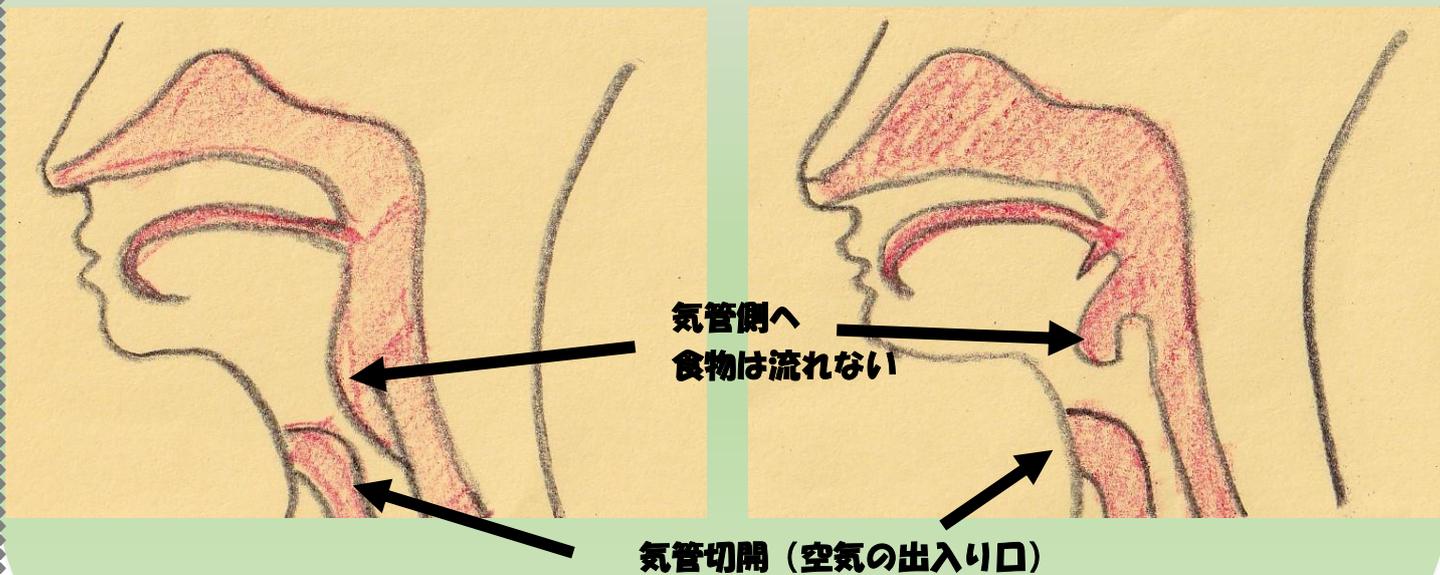
- ①発声機能は失われる
- ②気管孔を造設(カニューレ管理いらぬ)
- ③必ずしも術後の経口摂取を保障するものではない ※十分な説明と同意を得ること重要!
- ④ 1) 喉頭全摘出術 …心理的に「声帯」摘出に抵抗の強い方も。

2) 気管食道吻合術(Lindeman 原法) 図1

3) 気管食道分離術 図2

図1 吻合術: 小児に選択されること多い。

図2 分離術: 気切が高位の方。頸部の変形高度の方など



誤嚥防止の外科的治療として上記が位置づけされていますが、適応かどうかの検討は主治医のお考えもあると思います。もちろんご本人やご家族の思いも大切に慎重に検討をすすめていく防止策のひとつのようです。